

WHAT IS CLAIMED

1. インターネット、イントラネット等のネット網若しくは公衆、専用、無線回線（以下ネット網という）を介してユーザ側の使用熱量（冷・熱エネルギーのいずれも含む）を監視し、該使用熱量（熱使用量を形成する負荷の変動）に応じて必要とする冷・熱サイクルユニット（以下ユニットという）の増減設若しくは異なるクラスへのユニット交換を前記ユーザに促すことを特徴とする冷・熱供給ビジネスシステム。
2. 前記ネット網を介してユーザ側に貸与したユニットの負荷状態を監視し、前記ユニットの負荷が連続的若しくは断続的な累積レベルで規定上限負荷レベルを越えた際にユーザ側に新規ユニットの増設若しくは大型ユニットへの交換を前記ユーザに促すことを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。
3. 前記ユニットの負荷が連続的若しくは断続的な累積レベルで規定下限負荷レベル以下に低下した際にユーザ側に既存ユニットの減設若しくは小型ユニットへの交換を前記ユーザに促すことを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。
4. 前記負荷が含む使用熱量（負荷及びそれに対する使用熱量の）監視拠点と増減設、交換、メンテナンスをする管理拠点が合体しており、両者のデータが共通するWWWサーバ装置により共有させたことを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。
5. 前記負荷が含む使用熱量（負荷及びそれに対する使用熱量の）監視拠点と増減設、交換、メンテナンスをする管理拠点が合体しており、両者のデータが共通するWWWサーバ装置により共有させたことを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。
6. 前記ユーザ側より得られる対価の少なくとも一部に、前記ユニット負荷の変動に依存する変動対価（変動するユニット負荷に対応する冷・熱使用量に対する対価）が存在することを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。
7. 前記ユーザ側より得られる対価が、前記ユニットのリース料であり、該リース料の一部に前記ユニット負荷の変動に依存する変動対価（変動するユニット負荷に対応する冷・熱使用量に対する対価）が存在することを特徴とする請求項1

記載の冷・熱供給ビジネスシステム。

8. 前記ユーザ側より得られる対価の一部にユニットメンテナンス管理料が存在し、前記ネット網を介して得られるユーザ側に設置したユニットの負荷状態を含む異常検知信号から、異常の有無を監視し、該異常の有無に基づいて前記ユニットのメンテナンスを促すことを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。

9. 前記異常検知信号に、ユニットの運転状態を撮像する画像信号を含むことを特徴とする請求項8記載の冷・熱供給ビジネスシステム。

10. 前記メンテナンスに、ユニットの保守及び修理とともに、ユニットの交換業務を含むことを特徴とする請求項8記載の冷・熱供給ビジネスシステム。

11. 前記ユニットが可搬式エバコン熱源ユニットであることを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。

12. 前記可搬式エバコン熱源ユニットが2次側負荷への冷・熱エネルギーの取出しを除く冷・熱サイクルがユニット内部空間で行なわれる自己完結型ユニットであることを特徴とする請求項1記載の冷・熱供給ビジネスシステム。